

第5学年 英語科学習指導案

日 時 平成29年11月8日(水)
 モジュール：9：25～9：40
 児 童 赤石小学校5学年計75名
 指導者 阿部 勲寿 小野寺 小百合
 場 所 紫波第一中学校 体育館

1 単元名 What's this? (Hi, friends! 1 Lesson 7)

2 単元について

本単元は、簡単な語句や表現を用いてその場で質問をしたり、質問に答えたりして伝え合うことができるようにすることをねらいとする。単元の初めに、相手の持っているものについて聞いたり、自分の持っているものについて話したりする活動を行う。最終ゴールのコミュニケーションを行う場面では、What's this? It's～. のフレーズを使って家紋（苗字に関連する家紋）を紹介する発表を行う。

本単元では、普段あまり気にしたことのない家紋について紹介しあう活動を通して、ゆっくりと、そしてはっきりと話さなければならない状況を作り、今まで中学年で慣れ親しんできた語句や表現を使って、自分の力で伝えられることを目指している。

3 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- 活字体の文字とその音がわかるとともに、相手の持っているものや分からないものを尋ねる表し方が分かる。
(知識及び技能)
- 相手が分からない事柄を身ぶりや今まで学習した英語を使って伝えることができる。
(思考力・判断力・表現力等)
- 他者に配慮しながら、相手が分からないものを相手の分かる言葉や身ぶりで伝えたり、相手が伝えていることを最後まで集中して聞いたり質問したりしようとする。
(学びに向かう力)

(2) 拠点事業校のCAN-DOリストとの関連

聞くこと Listening	ゆっくりとはっきりと話されたごく簡単なものにかかわる英語を聞き取ることができる。
読むこと Reading	音声で慣れ親しんだ語句や表現を発音しようとする。
話すこと (やりとり) Spoken interaction	分からない物を聞いたり、相手の分からない内容を補足して伝えたりすることができる。
話すこと (発表) Spoken Production	簡単な語や句を用いて、自分に関わる情報を伝えることができる。
書くこと Writing	アルファベットの大文字を高さ（四線）に気を付けてブロック体で書き写すことができる。

(3)単元の評価規準

観点	ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 学びに向かう力
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 相手の尋ねる事柄について、はっきりゆっくり相手に伝えることができる。 分からない事柄を相手に伝える表現を使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の分からない事柄を分かるように工夫して伝えたり、自分の分からない事柄を状況から推測して聞き取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手のことを配慮し、聞き返したりうなずいたりするなどして、前向きにコミュニケーションを図ろうとすることができる。

4 児童について

児童は、3・4年生時に外国語活動を行い、音声の学習に十分に慣れ親しんできている。初めて聞く英語も注意深く聞くことができたり、慣れ親しんだ語を使ってコミュニケーション活動を楽しんだりすることのできる児童が多い。半面、「書くこと」や「読むこと」の言語活動に関してはこれから慣れ親しむ段階であり、正しくアルファベット（大文字）を読んだり書いたりすることのできる児童は少ない。

5 指導にあたって

今年度から、週1回の45分の授業の他に15分のモジュールを週に3回行い、週2単位時間の英語学習を行っている。児童の英語リーダーがモジュールの前半を進めることで主体的に学習を進めることができ、その結果、時間を有効に活用することができている。主に動画や英語リーダーの簡単な英語の劇を見ながらどんな言葉が出てきたか考えたり、アルファベットや単元に出てくる文字の読み書きの練習をしたりしてきた。“What’s this?”の表現を使える場を子供たちとともに考えながら、友達とコミュニケーションをすることを楽しく感じることもできる児童を目指したい。また、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成できるよう指導していきたい。

6 指導と評価の計画(4時間+モジュール1/3×12回)

時間	○目標 ・学習活動	○評価規準	評価方法
1 モジュール ①②	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なものについて、日本語と英語の音声の違いに気付くことができる。 ・4クエスチョン ・ストーリー又はリーダーによるスキット(小劇) ・チャンツ ・フォニックスソング(松香フォニックス市販教材) ・スモールアルファベットソング(松香フォニックス市販教材) ・フラッシュカード ・アルファベット(大文字の書き) 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語と英語の発音の違いに気付いている。(知識及び技能) 	行動観察 ワークシート
2	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語と英語の違いに気を付けて聞くことができる。 ・単元の見直し ・スキット(小劇) ニュージーランドのお土産 ・チャンツ ・フラッシュカード ・Hi, friends! Plus 何の文字かな? ・下の絵は何か考えよう。 ・漢字クイズ ・Hi, friends! Plus 大文字の学習 ・ハイファイブ 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語と異なる英語の発音に気付き、発音したり、聞き取ったりすることができる。(知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等) 	行動観察 ワークシート

<p>3 モジュール ③④⑤ ③本時</p>	<p>○分からないものを尋ねる表現に慣れ親しむ。 ・4クエスチョン ・ストーリー又はリーダーによるスキット(小劇) ・チャンツ ・フォニックスソング(松香フォニックス市販教材) ・スモールアルファベットソング(松香フォニックス市販教材) ・フラッシュカード ・アルファベット(大文字の書き)</p>	<p>○What's this? It's ~. 等の定型表現に慣れ親しむことができる。 (知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等)</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
<p>4</p>	<p>○分からないものを尋ねる表現を使うことができる。 ・チャンツ ・キーワードゲーム ・ミッシングゲーム ・ブラックボックスゲーム ・ハイファイブ</p>	<p>○What's this? It's ~. 等の定型表現を使うことができる。 (知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等)</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
<p>5 モジュール ⑥⑦⑧</p>	<p>○相手の分からない事柄を補足して伝える表現に慣れ親しむ。 ・4クエスチョン ・ストーリー又はリーダーによるスキット(小劇) ・チャンツ ・フォニックスソング(松香フォニックス市販教材) ・スモールアルファベットソング(松香フォニックス市販教材) ・フラッシュカード ・アルファベット(大文字の書き)</p>	<p>○英語を使った簡単なやり取りに慣れ親しむことができる。 (知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等)</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
<p>6</p>	<p>○相手の分からない事柄を補足して伝える表現に慣れ親しむ。 ・チャンツ ・家紋調べ ワークシートにイラストや説明を書きこむ。 ・伝え方の練習</p>	<p>○英語を使って簡単な挨拶ややり取りができる。 What's this? It's my KAMON. It's a bamboo. It's a bird. It's a flower. It's a mountain. (知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等) (学びに向かう力)</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>
<p>7 モジュール ⑨⑩⑪⑫</p>	<p>○相手の分からない事柄を補足して伝える表現に慣れ親しむ。 ・4クエスチョン ・ストーリー又はリーダーによるスキット(小劇) ・チャンツ ・フォニックスソング(松香フォニックス市販教材) ・スモールアルファベットソング(松香フォニックス市販教材) ・フラッシュカード ・アルファベット(大文字の書き)</p>	<p>○What's this? It's ~. の表現に慣れ親しむことができる。 (知識及び技能) (学びに向かう力)</p>	<p>行動観察 ワークシート</p>

8	○相手の分からない事柄を補足して伝える表現を使うことができる。 ・チャンツ ・発表会 ・ハイファイブ	○What's this ? It's～.の表現を使うことができる。(知識及び技能) ○相手にわかりやすくするために補足することができる。(知識及び技能) (思考力・判断力・表現力等) (学びに向かう力)	行動観察 ワークシート
---	---	---	----------------

7 モジュール活動案 3 / 12

過程	活動内容	留意点・教材・教具
導入 2分	Warming-up 1. あいさつをする 2. 学習の流れの説明 3. クエスチョンタイム ・日時、曜日、天気	・T1による指導 1～7 ・大型テレビ PC ・英語リーダーによるクイズ ・時間や曜日、天気、日付を表すカード
展開 12分	Activity 4. 英語リーダーによるスキット (小劇) ・時代劇での一場面 5. チャンツ 6. フォニックスソング 7. スモールアルファベットソング 8. 語句の練習 (フラッシュカード) 9. ライティングゲーム 自分の名前と友達の名前をアルファベットの太文字で書く。 10. STARFISH を書く。	・T1がどんな英語が聞こえたか児童に問いかける。 ・発音に気を付けて歌うようにこえがけする。 ・フォニックスソングは音をよく聞いてから声に出して歌うように声がけする。 ・しっかり聞き、動作に表すことができるようにさせる。 ・T2による指導 8～11 ・語句に慣れ親しませることと即興性をねらいとする。 ・ワークシート ・字の大きさ、形、スペースに気を付けて書くように声がけする。 ・エアーライティングをして書き順を確かめてからワークシートに書くようにする。
終末 1分	Greeting 11. あいさつ	